

ICSW グローバル・コーポレーション（国際社協ニュースレター）

2011 年 2 月

【概要】

- 国連社会開発委員会
- 正しい世界の景気回復
- ザンビアの特使、2011 年の ECOSOC に選出
- 公平かつ効果的な気候変動資金の達成：市民社会の展望
- リオ 2012：その実現
- 農業／農村部雇用におけるジェンダー的次元

国連社会開発委員会

ICSW は、「貧困撲滅」のテーマのもと、2 月 9～18 日にニューヨークで行なわれた第 49 回国連社会開発委員会セッションに出席した。国連加盟国、市民社会、その他の関係者が、貧困と、社会的統合や完全雇用、あるいは万人のためのディーセント・ワークとの間の関係について検討した。

社会保護は、国連経済社会理事会により、第 49 回セッションの新たな問題として取り上げられたものである（決議 2006/18）。これは、個人や家族が、自分たちの幸福の課題となるものを管理し、また克服していく能力に影響を与えるものである。脆弱性を減らし、生活条件の劣化を防ぐことも重要である。ICSW は、本テーマおよび社会保護について、広範囲にわたる声明を発表した。詳しくは以下を参照のこと。

<http://www.icsw.org/un/un.htm>

重点テーマに加え、セッションでは、社会グループの状況に関連する国連の行動計画およびプログラムを見直した。

セッションの第2日目には「貧困撲滅」のテーマの下、ハイレベルなパネル・ディスカッションが行なわれた。これは、貧困撲滅を妨げる主要因、特殊な政策により貧困撲滅に成功した例、また、貧困撲滅のために公的リソースを掘り起こす方法や、国家政策および政府の計画においてそのプロセスを優先させる方法に焦点を当てたものである。

2011 年は見直しの年になるため、委員会のメンバーは貧困撲滅という優先テーマについて、政策を形作るといえないかなる決議も採択しないことになっている。優先テーマである貧困撲滅についての背景資料については以下を参照のこと。

<http://www.un.org/esa/socdev/csocd/2011/prioritytheme-note.pdf>

コンセプト・ペーパー『新たに出現した問題：社会保護』については、以下を参照のこと。

<http://www.un.org/esa/socdev/csocd/2011/prioritytheme-note.pdf>

NGOs による全ての声明については、以下を参照のこと。

<http://www.un.org/esa/socdev/csocd/2011/conceptnote.pdf>

正しい世界の景気回復

以下は、2011年2月1日にシンガポール金融管理局で行なわれたIMFの専務理事であるドミニク・ストロス＝カーン (Dominique Strauss-Kahn) 氏のスピーチから抜粋したものである。ストロス＝カーン氏は、経済管理に対する包括的なアプローチの一部として、社会保護について触れた。(編集者)。全文を読むに値するテキストである。以下を参照のこと。

<http://www.imf.org/external/np/speeches/2011/020111.htm>

「先週発表されたIMFの最新予測では、今年の世界成長を4½ パーセントとしています。これはこの10年間の平均と比べても高いし、また我々の10月におけるWEO (世界経済見通し) 予測よりも上方修正されています。」

「景気回復は進んでいますが、しかし一方で、これは我々が望んでいる景気回復ではありません。この景気回復は緊張と重圧で押しつぶされそうになっており、新たな危機の種さえ内包しているのです。危険な不均衡要素が二つあります。

一つ目は、全ての国において景気回復のバランスが取れていないことです。先進経済においては、成長はまだ潜在力を下回る状態でとどまっていますが、新興経済、開発途上経済においては、成長があまりに早く、すぐにオーバーヒートする日がやってくるでしょう。

二つ目は、各国の中においても景気回復のバランスが取れていないことです。失業率はかつてないほど高く、社会的な重圧に加えて、所得格差も広がっています。」

「私が思いますに、経済を管理するに当たり、標準的なマクロ経済政策や金融政策だけでなく、雇用創出や社会保護にも目を向けた包括的なアプローチを取らない限り、正しい景気回復は望めません。仕事なしには、そして所得の保証なしには、国内需要の回復はありえず、そして究極的には、持続可能な景気回復もありえないのです。」

【速度の異なる二つの景気回復】

「まずは、世界レベルでどのように景気回復が進むのか、から見ていきましょう。

2011年、先進経済においては2½ パーセントという控えめな成長予測をしています。高い失業率と家庭が抱える負債とが、需要に重くのしかかっているからです。他方、新興経済や開発途上経済においては、6½パーセントという、より速い成長予測をしています。(日本を除く) アジアでは、8½パーセントの成長を見込んでいました。

いわゆる“世界の成長ギャップ”も、別の意味で景気回復の重石となります。新興経済の急速な成長を受けて、エネルギー価格は急騰しています。食糧価格もまたしかり、であり、供給ショックが主な原因とはいえ、これは低所得国にとっては壊滅的な結果を伴うものです。こうした価格上昇は、すでに消費者物価指数に影響を及ぼし始めています。新興経済に対する巨額で不安定な資金の流入は、もうひとつの開発課題です。これらはマクロ経済のマネジメントを複雑化し、場合によっては、金融の安定についての懸念を引き起こします。

景気回復のバランスをもう一度取るためには、どうするのが一番いいのか？優先すべきものが何なのか、今では皆さんもうよくご存知でしょう。

先進経済においては、鍵となるのは成長促進と雇用創出です。こうした経済がより競争力を持つためには、構造改革が必須ですが、その一方でこうした改革は長い時間を経た後に効果が現れるものです。となれば、短期的に向上させるためには何が出来るか？最も喫緊の作業は、リスクを減らし、健全な信用成長の道をならすための金融部門の修繕と改善です。」

【失業と所得の不平等】

「では、国の内部で起こる二つ目の不均衡、即ち、高い失業率と所得および富の不均衡に目を向けてみましょう。世界的な失業率の急増は大きな社会問題です。もし仕事を失えば、保健は悪化し、余命は短くなり、子どもたちの学校の成績も下がるでしょう。仕事が見つかる希望のないところでは、社会全体が苦しんでいるということであり、裏を返せば、政治的安定性が脅かされかねない、ということです。

ここアジアでは、この数十年というものの、驚くべき社会的進歩を遂げ、5億人以上もの人が貧困から抜け出しました。と同時に、所得の不平等という問題が持ち上がってきました。中国やインドの指導者らは、この所得および富の不均衡に取り組むことを、政策アジェンダに高く掲げています。シンガポールのような富裕国家においてさえ、所得ギャップが拡大するのは国の重大関心事である、とリー首相が言っているほどです。

所得の不平等に気をつけなければならない社会的・倫理的理由はいくらでもあります、重要なマクロ経済的理由もまたあります。

不平等は、経済的な機会をダメにしてしまうのです。貧しい人々がなかなか信用を得られないからです。そうすると、人々は非生産的な活動へと流れていってしまいます。そしてこうした動きは、国全体をショック状態に陥りやすくさせてしまいます。つまり、ほんの一握りの人々だけが、いざという時のために備えてせつせと貯金をする一方、大多数の人々は嵐がきた途端に被害を被ってしまうのです。不平等はショックからの立ち直りも難しくさせます。より平等な社会のほうが、長く成長を続けられるのです。

こうした課題に対応していくためにはどうすれば一番いいのか？

高い失業率を抱える国々では、よく練られた失業計画と、社会支援と、そして公共事業計画が、長期的な失業を防ぐのに功を奏し、そして不景気からの回復期間を短くするのに役立ちます。ILOから提案されたような基本的な社会保護フロアを導く適切な社会保護は、か弱い者たちを危機の矛先から守ることが出来ます。先進経済においては財政再建が始まっていますが、私たちは財政政策ができるだけ仕事に優しいものであることを確実にしておかなければなりません。

長期にわたり、分配のずっと下の方の末端における所得の成長を促す最も効果的な方法は、教育への投資、革新、そして労働者の技能の底上げです。

21世紀の経済は、究極的には知識経済といえます。そこでは教育がきわめて重要となるので

す。私たちは世界中の人々に、今日の競争の激しいグローバル経済で繁栄するために彼らが必要としているツールを与えなければなりません。」

ザンビアの特使、2011年のECOSOCに選出



ザンビアの国連常駐代表である Lazarous Kapambwe 閣下は、1 月 18 日に国連経済社会理事会（ECOSOC）の会長に選ばれた。

「私は全ての社会経済的分野において、いわゆる発展の面で最も遅れをとっている地域を代表しております。私は、他の地域同様、アフリカ地域の問題について、当理事会が最善を尽くして取組むことを確実にする、とお約束いたします。」

Kamambwe 氏はこのように述べた。

公平かつ効果的な気候変動資金の達成：市民社会の展望

『公平かつ効果的な気候変動資金の達成：市民社会の展望』では、メキシコのカンクンで行なわれた国連気候変動会議（COP16）の成果および気候変動資金の資金源やガバナンスに関する問題についての、市民社会の展望に焦点を当てている。

<http://www.un-ngls.org/spip.php?article3230>

リオ 2012：その実現

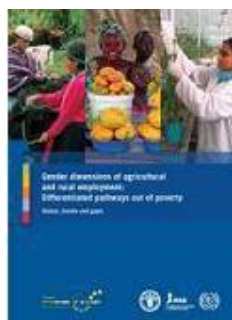
持続可能な開発に関する国連会議（リオ 2012）では、2 週間に 1 度、『リオ 2012：その h 実現』と題されたニュースレターを発行している。オンラインでも入手可能だが、定期購読者に送られてもいる。最新号は以下を参照のこと。

http://www.uncsd2012.org/index.php?option=com_content&view=article&id=173:rio-2012-making-it-happen-volume-2-issue-3&catid=76:newsletter&Itemid=128

開発途上国における貧困に対する送金の影響

http://www.unctad.org/en/docs/ditctnecd20108_en.pdf

農業／農村部雇用におけるジェンダー的次元



ジェンダー的不平等は、社会的、文化的、宗教的、そして経済的要因により、地域や分野にまたがって実に多様である。にもかかわらず、最近出版された、農業におけるジェンダー的次元に関する国連の機関共同レポートでは、（きちんとしたまっとうな）農業／農村部雇用においては、それが自営であれ、小作であれ、世界的に見て、女性はまだまだ男性に比べて不利な状況に置かれ

ている。この不平等を克服するための動きは、近年の経済危機および食糧危機のために足踏み状態となっている。

http://www.unctad.org/en/docs/ditctnecd20108_en.pdf

子どもの貧困と不均衡に関する研究

http://www.unicef.org/socialpolicy/index_43137.html

ユニセフでは、貧困および不均衡に関する多次元的な分析を進めている。現在、23 カ国分の報告書をまとめ、その他にも実行中のものがある。これらは全て『南』の研究所やパートナーと共同で行なわれた。

- バングラディシュ

<http://www.unicef.org/socialpolicy/files/BangladeshNationalReport.pdf>

- ブルネイ

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Burundi_RapportPauvreteDelEnfant.pdf

- カメルーン

http://www.unicef.org/wcaro/wcaro_Child_Poverty_Cameroon_dec09.pdf

- コンゴ民主主義共和国

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/DRC_Rapport_sur_la_pauvrete_des_enfants.pdf

- ジブチ

<http://www.unicef.org/socialpolicy/files/DjiboutiEtudepauvreteDesenfants.pdf>

- エジプト

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Egypt_English_Fullreport_Childpovert.pdf

- ガーナ

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Ghana_reportdesign_July2010.pdf

- ジャマイカ

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Jamaica_Child_Poverty_and_Disparity.pdf

- インド洋諸島

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Indian_Ocean_Islands_French.pdf

- コソボ

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Kosovoa_Child_Poverty_ENG.pdf

- キルギスタン

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Kyrgyzstan_English_ChildPovertyReport.pdf

- マリ

http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Mali_child_poverty_2008.pdf

- メキシコ

[http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Mexico_ChildPovertyandDisparitiesReport\(1\).pdf](http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Mexico_ChildPovertyandDisparitiesReport(1).pdf)

- ニカラグア
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Nicaragua_Spanish.pdf
- ニジェール
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Niger_FinalReport.pdf
- ナイジェリア
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Nigeria_GLOBAL_STUDY_ON_CHILD_POVERTY_AND_DISPARITIES_smaller.pdf
- フィリピン
[http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Philippines_GlobalStudy\(1\).pdf](http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Philippines_GlobalStudy(1).pdf)
- コンゴ共和国
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Congo_poverty-resized.pdf
- セネガル
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Senegal_RapportEtudePauvreteSngalfinal.pdf
- タンザニア
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Tanzania_FinalChildPovertyStudy.pdf
- タイ
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Thailand_Childwellbeingreport-fullreport.pdf
- ウクライナ
http://www.unicef.org/socialpolicy/files/Ukraine_ENG.pdf
- ウズベキスタン
https://3616752970688719987-a-1802744773732722657-s-sites.googlegroups.com/site/uzbekistanchildpovertystudy/UNICEF_Child_Poverty_UZB_ENG-07.09.09.pdf?attachauth=ANoY7cpy89Iir_j7J39EQv8kD6yTlpcpGikLdr3a3LwtIDHwbsSJP-i1ujFqSDw5cWRVhN3SmwZR6BU7jYn7hNAkj3Xann4Btlz_hzEs-Ffbo4Bk5odIzmiEbbutem1aQtmLBvuS-vfMr2sF2fKUKj0RIlh8RAH-FZbU7TFclztJIp11oKeLGy5QiN06g0TNI2bkyu4_S9vxmenhaTacGQ5vThmYumVEvYvKfJNskvKMJJN7xFuCLwXgZyAZBK2GP8bNt42EVxo&attredirects=0

詳しい情報については、子どもの貧困と不均衡に関する国際研究のウェブサイト参照のこと。
blog - <http://www.unicefglobalstudy.blogspot.com/>

急騰する食糧価格の管理～再び

(CGD 開発アップデートより、2011 年 2 月 15 日)

厳しい気候と米国のエタノール政策のおかげで、トウモロコシおよび小麦の値段は再び急騰している。Kim Elliot および Vijaya Ramachandran は、更なる危機を避けるための方法を提案している。また、Amanda Glassman は、貧困者への干渉に力を入れることを勧奨している。

http://blogs.cgdev.org/globaldevelopment/2011/02/another-food-price-spike-weather-again-to-blame-for-wheat-corn-pushed-by-even-worse-ethanol-policies.php?utm_source=nl_weekly&utm_medium=email&utm_campaign=nl_weekly_02152011

「エージェント・オブ・チェンジ」のノミネート

2011 年の連邦のテーマ「Women as Agents of Change（変化の主要因としての女性）」を記念し、また人々の励みとなるような女性の業績に焦点を当てるべく、英連邦は、連邦内の諸機関、諸組織に対し、人々の人生に変化をもたらしたような業績を上げた女性を、「エージェント・オブ・チェンジ」としてノミネートするよう呼びかけている。受付はもう始まっており、2011 年 3 月 14 日に締め切られる。ふるってご応募されたし。詳しくは下記のサイトを参照のこと。

<http://www.surveymonkey.com/s/CWagentsofchange>

問い合わせは下記まで。

agentsofchange@commonwealth.int

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先

P.O.Box 28957

Kampala

Uganda

Website: www.icsw.org

Email: icsw@icsw.org

Tel: +256 414 32 11 50